

# 私が生まれてきた訳は

## —中村久子の声を聞く

あおき

かおる

青木

馨著

▼46判・並製カバー・114頁・定価二、二〇〇円

2021年8月刊行



なぜ生まれてきたのか。

なぜ生かされているのか。

幼いころに両手両足を失い、苦難の人生を歩みながらも、生涯、身障者支援に尽力した中村久子。最晩年の語りと書簡からうかがう「生きる意味」とは。【音声CD付】

### 【目次】

はじめに

#### I 中村久子

- 一、悲母観世音菩薩像
- 二、中村久子という人

- 1 四肢切断から独り立ちへ
- 2 四婚の家族生活
- 3 障害を乗り越えた女性たちとの価値
- 4 仏縁

#### II 蓮成寺の法縁

- 一、一枚のはがき
- 二、幼い頃の思い出——微かな記憶をたどる

#### III 中村久子法話「生かざる、仕合せ」(抄)

- 一、讚題——西条八十 詠「ほほえみ」
- 二、私はいつも新婚旅行

#### IV 一通の手紙——尼さんの眼病を治してあげたい

- 一、遺された手紙
- 二、花山信勝との出遇い

#### V 宿業のままに——詠歌三首

- 一、歌に託されたところ
- 二、慈光を求めて

あとがき

#### ◆著者略歴

一九五四年生まれ。真宗大谷派蓮成寺住職、同朋大学仏教文化研究所客員所員。二〇一八年、博士(文学)『本願寺教団展開の基礎的研究』(単著)、『A級戦犯者のお念仏』(編著)、『大系真宗史料 伝記編6 蓮如絵伝と縁起』(編著)、『蓮如名号の研究』(共著)、『誰も書かなかつた親鸞』(共著)、『教如と東西本願寺』(共著)ほか。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
青木 馨著	
法蔵館	
定価二、二〇〇円	
私が生まれてきた訳は	
——中村久子の声を聞く	
ISBN:978-4-8318-5719-4 C1015	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

仏教